

腹腔鏡内視鏡 合同手術研究会

Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery
第16回 2017年10月14日

<p>■ 総合討論 全員参加型 アンサーパッド討論</p>	<p>LECS 時代の内視鏡医と外科医のあり方」 ～教育論・トレーニング方法・実臨床について～ "What should gastroenterologists and surgeons do in LECS era?" - From the viewpoints of education, training, and clinical practice-</p>
---------------------------------------	---

司会 森宏仁先生（香川大学医学部消化器・神経内科）
布部創也先生（がん研有明病院消化器センター）

Moderator:

Hirohito Mori, M.D, Ph.D.,

Department of Gastroenterology and Neurology, Kagawa University, Japan

Souya Nunobe, M.D.,

Gastric Cancer Division, Gastroenterological Surgery, Japanese Foundation for Cancer Research

LECS は内視鏡医と腹腔鏡医の合同手術として確立し、ますます発展しています。

一方で内科系・外科系など学会などでは、様々な regulation があり、お互いに一歩下がってきている感も否めません。

本 LECS 研究会は、内視鏡医と腹腔鏡医が、本音で意見を交わしあえる場であり、LECS 研究会を、その名のごとく、真の意味でのコラボレーション、もしくは、融合の始まりとなりえるか、今一度、再確認すべきときではないでしょうか。

また内視鏡の治療機器開発も進んでおり、LECS の現状・教育・将来展望について、内視鏡医、外科医ともに全員参加型のアンサーパッド形式で活発な討論を行いたいと思います。